

みてみよう！ くふうしよう！ ちょうせんしよう！

キンダーブック

がくしゅうおおぞら

2月号



ケーキの建物やチョコレートの川がある、想像するだけで楽しくなる「おかし」の街です。どのお菓子を食べてみたいか、またどんなふうに食べてみたいか、ぜひ子どもたちに尋ねてみてください。



のりが できるまで

ねらい 海苔がどこでどのように作られているかを知り、身近な食べ物への興味につなげましょう。

おにぎりやお寿司などで、よく食べられている海苔が、どこでどのように作られているかを紹介します。誌面の料理写真を見ながら、食べたことのある物を尋ねて関心を高めましょう。



海苔は海で漁師さんが養殖をして育てていることを知らせます。最初は小さな孢子から、時間と手間をかけながらいくつかの工程を経て作られていることを紹介します。



できあがった海苔を摘みとり、工場に運んで成形、出荷するまでを紹介し製造過程を知らせます。自然の産物と人の手間によって作られていることに注目し、食べ物に感謝する気持ちを育めるとよいですね。



にんじあの まきもの



ねらい 文章がどのように構成されているかを知り、気づきにつなげましょう。

つかい方のポイント 巻物に書かれた文を声に出して読み、「だれが」「どこで」「何をした」という文の構成に気づけるようにします。絵を見ながら自分なりのことばで文章を作ってみたり、作った文章をみんなで発表し合ったりしても楽しいですね。



こころの おにを おいだそう！



ねらい 節分行事の導入などに、主人公の気持ちの変化に共感しながら読んでみましょう。

つかい方のポイント 節分にちなんで、怒りなどの負の感情を鬼にたとえたお話です、りゅうくんが鬼の面をぐちゃぐちゃにしたときはどのような気持ちだったか、またそのような気持ちはどうすれば退治できるか話し合ってみましょう。

「がくしゅうおおぞら」を 保育にご活用ください！

絵本をつかった 指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域	10の姿
みてみよう！ かんぎょう 身のまわりのしくみや不思議を知ろう 「のりが できるまで」	<ul style="list-style-type: none"> ●海苔がどこで作られているかを知る。 ●海苔の製造工程を知る。 ●身近な食べ物がどのように作られているか関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ふだん食べ親しんでいる海苔が、海で漁師さんによって作られていることを伝える。 ●海苔が作られる工程を伝え、製造の方法や期間など知識につなげる。 ●食べ物は自然の産物と人の手間により作られていることを知らせ、ほかの食品への関心につなげる。 	環境 表現	<ul style="list-style-type: none"> ●思考力の芽生え ●豊かな感性と表現 ●自然との関わり・生命尊重
ちょうせんしよう！ ことば ことばや文字に親しみ、国語の基礎を学ぼう 「にんじあの まきもの」	<ul style="list-style-type: none"> ●簡単な文を声に出して読む。 ●文の構成を知る。 ●文の構成を意識して、自由に作文する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●誌面に書かれている文を声に出して読み、文に親しませる。 ●文が「だれが」「どこで」「何をした」という構成になっていることに気づかせる。 ●自分で文章を作ること、表現する楽しさを味わえるようにする。 	言葉 表現	<ul style="list-style-type: none"> ●思考力の芽生え ●数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ●言葉による伝え合い